

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
博士前期課程

学生募集要項

平成28年4月入学（第2回）

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND
PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>

《 アドミッション・ポリシー 》

大学院医歯薬学総合研究科では、その設置の趣旨・目的に基づき次のような学生を求めています。

- ・ 最先端の研究動向を把握し、地域から国際社会まで幅広く普遍的に貢献する研究を志す人
- ・ 医・歯・薬学の専門的知識を統合した学際的研究を志す人
- ・ 世界をリードする先端的・独創的研究を推進し、研究成果を発信する人
- ・ 高度で幅広い知識を習得し、科学の進歩に適応しうる問題解決能力を涵養する人

目 次

| | |
|-------------------|--------|
| I 募集人員 | 1 ページ |
| II 入試日程 | 1 ページ |
| III 一般入試 | 2 ページ |
| IV 外国人留学生特別入試 | 8 ページ |
| V 薬科学専攻（博士前期課程）案内 | 14 ページ |

入学試験に関する照会先

〒700-8530
岡山市北区津島中1-1-1
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
薬学系事務室教務学生担当
【TEL 086-251-7923（直通）】

募集要項等の郵送を希望する場合は、「医歯薬学総合研究科（博士前期課程）募集要項請求」とし、返信用封筒（角形2号の封筒に郵便切手250円分を貼付したもの）を同封して、上記あてに請求してください。

I 募集人員

| | |
|-------|---------------|
| 専攻 | 平成28年4月入学募集人員 |
| 薬科学専攻 | 若干人 |

※ 募集人員には，外国人留学生特別入試での若干人を含みます。

II 入試日程

| | |
|-------|---------------------------------------|
| | 平成28年 4月入学(第2回入試) |
| 出願期間 | 平成28年 1月 4日(月) ～ 平成28年 1月 5日(火) |
| 試験日 | 平成28年 1月21日(木) |
| 合格者発表 | 平成28年 2月 5日(金) |

Ⅲ 一般入試

1 出願資格

次のいずれかに該当する者又は平成28年3月までに該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(平成17年文部科学省告示第169号参照)
- (6) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めるもの
- (9) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- (10) 大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

(注1) 1の出願資格(2)に該当する見込みの者とは、学位規則第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者が該当します。

(注2) 1の出願資格(8)～(10)に該当する入学志願者は、出願の前に個別の入学資格審査を行います。

(注3) 1の出願資格(9)に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは、出願資格の審査として、書類審査の後に学力検査(筆記試験、口頭試問)及び面接を行い、出願資格を認めた者が該当します。

ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は省略することがあります。

(注4) 出願資格(10)の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

2 出願資格における個別の入学資格審査

前記1の出願資格(8)～(10)における入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、次により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

| | |
|----------|--|
| 申請書類請求方法 | 「大学院医歯薬学総合研究科入学資格審査申請書類請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒を同封し、請求先あてに郵送してください。 [返信用封筒] 長形3号封筒(23.5cm×12cm)に入学志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、372円分の切手を貼り付けてください。 |
| 請求先 | 〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL (086)251-7923】 |
| 申請書類提出期間 | 平成27年12月14日(月)～12月15日(火)必着 |

3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

| | |
|------------|--|
| 相談締め切り期限 | 平成27年12月10日(木) |
| 相談方法 | 「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書、障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。 |
| 請求先 相談先 | 〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL (086)251-7923】 |

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志望者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

平成28年1月4日(月)から1月5日(火)まで

(注) 郵送とし、平成28年1月5日(火)17時までに必着としますが、これ以降に到着したものは、平成28年1月4日(月)までの消印のあるものだけに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

また、受領時に、到着日時を必ず確認しておいてください。

ただし、持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。(12時から13時までを除きます。)

(3) 提出先

| |
|--|
| 〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL (086)251-7923】 |
|--|

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消される場合がありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

| | |
|------------------------------|---|
| ① 志願票, 受験票 及び写真票 | 所定の用紙により提出してください。 |
| ② 学業成績証明書 及び卒業(見込) 証明書 | 出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの なお、本学薬学部の卒業生及び卒業見込みの者は成績等の確認ができる ので、提出不要です。 |
| ③ 写真 | 縦5.0cm×横4.0cm, 上半身, 無帽, 正面向きで出願前3か月以内に撮影したも の2枚を志願票及び写真票の所定欄に貼り付けてください。 |
| ④ 入学検定料 | 30,000円(振込手数料が別に必要です。) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行 又は郵便局を含みます。)の窓口から振込(ATMは利用できません。)によって納 入し、必ず、「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄に貼り付けてください。 |
| ⑤ 履歴書 | 最終の学校(大学等)を外国で卒業した入学志願者のみ 所定の用紙により提出してください。 |
| ⑥ 住民票 | <u>日本在住の外国人</u> の入学志願者のみ 市区町村長が発行したもの(在留資格・在留期間が記載されたもの) |
| ⑦ 学士の学位授与 (申請)証明書 | 「1 出願資格(2)」で出願する者のみ 大学評価・学位授与機構が作成した学位授与(申請受理)証明書又は在籍す る短期大学長・高等専門学校長が作成した短期大学専攻科・高等専門学校専攻 科の修了見込証明書及び学士の学位授与を証明する予定である旨の証明書(様式任意)を提出してください。 |
| ⑧ 英語能力試験の 成績証明書 | 試験日の4年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力 試験の成績証明書の原本を提出してください。 ・TOEICの500点以上の成績通知書 ・TOEIC-IPの500点以上の成績通知書 ※成績通知書は後日返却します。 |
| ⑨ 受験票等送付用 封筒 | この募集要項に添付されている封筒に、受験票の送付先(入学志願者本人 の郵便番号、住所、氏名)を明記し、362円分の切手を貼ってください。 |
| ⑩ 連絡受信先シー ル | 合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入し てください |
| ⑪ 他研究科での在 学期間証明書 | 「1 出願資格(8)」で出願する場合のみ |

【 注意事項 】

志願票等の記入方法について

「V薬科学専攻(博士前期課程)案内」(P14～P15)により、講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに、志望教育研究分野の担当教員に教育研究内容等について事前に面談の上、記入してください。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については、志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名(漢字・カナ)の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

5 受験票の交付

(1) 受験票は、平成28年1月8日(金)頃に本人あて発送します。

なお、1月15日(金)までに到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

| |
|--|
| 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL (086)251-7923】 |
|--|

(2) 受験票は、試験当日及び入学手続の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

6 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、筆記試験(薬学基礎科目)、提出のあったTOEICテスト又はTOEIC-IPテストのスコア、口述試験(岡山大学薬学部出身者以外の受験者のみ)、及び出願書類等を総合して行います。筆記試験及び口述試験は1日で終了します。

(1) 試験内容等及び配点

| 試験内容 | | 配点 | |
|------|-----------------------|------|------|
| 筆記試験 | 薬学基礎科目 | 100点 | 150点 |
| 書類審査 | TOEICテスト又はTOEIC-IPテスト | 50点 | |
| 口述試験 | 口頭試問 | ※ | |

※ 口述試験は、総合判定の資料とします。

(2) 試験日程

| 試験日 | 試験内容 | | 試験時間 |
|---------------|------|---|-------------|
| 平成28年1月21日(木) | 筆記試験 | <p>薬学基礎科目</p> <p>① 有機化学 有機化合物の構造化学, 立体化学, 合成法, 反応機構, 命名及び構造決定領域から出題します。</p> <p>② 物理化学・分析化学 原子・分子の構造, 化学熱力学, 溶液論, 電気化学, 反応速度, 輸送現象の物理化学領域, ならびに酸塩基, 酸化還元, キレート滴定などの定量分析及び機器分析の領域から出題します。</p> <p>③ 生命科学 生化学(タンパク質, 脂質, 核酸, 糖質, エネルギー代謝)及び分子・細胞生物学(細胞の構造, 遺伝子の複製・修復・組換え, 遺伝子発現の調節, シグナル伝達, 細胞周期と細胞死)から出題します。</p> | 9:30 ~11:00 |
| | 口述試験 | 口頭試問 | 11:30 ~ |

- ① 薬学基礎科目は計3題のうち2題を選び, 解答してください。
- ② 書類審査として, TOEIC テスト又は TOEIC-IP テストのスコアを用います。(英語の筆記試験は実施しません。)

(3) 試験場

岡山大学薬学部1号館【岡山市北区津島中1-1-1】

- ① JR岡山駅西口から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅東口から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車, 徒歩約10分

7 合格者発表

- (1) 合格者の発表は, 次のとおり掲示により行います。

| 日時 | 掲示場所 |
|----------------------|-------------|
| 平成28年2月5日(金) 10時(予定) | 薬学部1号館前 掲示板 |

- ① 合格者には, 医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当の窓口で, 合格通知書等を交付します。(本学に在籍していない合格者には, 合格通知書等を郵送します。)
- ② 掲示による合格者発表後, ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>)
- ③ 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

- (1) 入学手続方法
詳細は、「入学案内」により通知します。

- (2) 入学手続期間

| |
|---------------------------|
| 平成28年4月入学(第2回入試) |
| 平成28年3月14日(月)及び3月15日(火)まで |

9 その他

- (1) 学費
入学料 282,000円 [予定額]
授業料(前期分) 267,900円 (年額 535,800円)[予定額]
※ なお, 入学時及び在学中に改定が行われた場合には, 改定時から新たな金額が適用されます。

- (2) 修学援助
修学援助の一環として, 入学料免除・徴収猶予, 授業料免除及び奨学金等の制度があります。

IV 外国人留学生特別入試

1 出願資格

- (1) 日本国籍を有しない者（ただし、日本国内の大学を卒業した者及び卒業見込の者を除く。）
- (2) 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学後に「留学」の在留資格に変更又は取得できる見込みの者

上記(1)及び(2)の要件を満たし、次のいずれかに該当する者又は平成28年3月までに該当する見込みの者

- ① 大学を卒業した者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑤ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
- ⑥ 大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

(注1) 1の出願資格⑤～⑥に該当する入学志願者は、出願の前に個別の入学資格審査を行います。

(注2) 1の出願資格⑤に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者」とは、出願資格の審査として、書類審査の後に学力検査(筆記試験、口頭試問)及び面接を行い、出願資格を認めた者が該当します。

ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は省略することがあります。

(注3) 出願資格⑥の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

2 出願資格における個別の入学資格審査

前記1の出願資格⑤～⑥における入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、次により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

| | |
|----------|--|
| 申請書類請求方法 | 「大学院医歯薬学総合研究科入学資格審査申請書類請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒を同封し、請求先あてに郵送してください。 [返信用封筒] 長形3号封筒(23.5cm×12cm)に入学志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、372円分の切手を貼り付けてください。 |
| 請求先 | 〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 TEL (086)251-7923 |
| 申請書類提出期間 | 平成27年12月14日(月)～12月15日(火)必着 |

3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

| | |
|------------|--|
| 相談締め切り期限 | 平成27年12月10日(木) |
| 相談方法 | 「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書、障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。 |
| 請求先 相談先 | 〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL (086)251-7923】 |

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志望者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

平成28年1月4日(月)から 1月5日(火)まで

(注) 郵送とし、平成28年1月5日(火)17時まで必着としますが、これ以降に到着したものは、平成28年1月4日(月)までの消印のあるものだけに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

また、受領時に、到着日時を必ず確認しておいてください。

ただし、持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。(12時から13時までを除きます。)

(3) 提出先

| |
|--|
| 〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL (086)251-7923】 |
|--|

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

| | |
|------------------------------|--|
| ① 志願票, 受験票 及び写真票 | 所定の用紙により提出してください。 |
| ② 学業成績証明書 及び卒業(見込) 証明書 | 出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの なお、本学薬学部の卒業者及び卒業見込みの者は成績等の確認ができるので、提出不要です。 |
| ③ 写真 | 縦5.0cm×横4.0cm, 上半身, 無帽, 正面向きで出願前3か月以内に撮影したものの2枚を志願票及び写真票の所定欄に貼り付けてください。 |
| ④ 入学検定料 | 30,000円(振込手数料が別に必要です。) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含みます。)の窓口から振込(ATMは利用できません。)によって納入し、必ず、「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄に貼り付けてください。 |
| ⑤ 履歴書 | 最終の学校(大学等)を外国で卒業した入学志願者のみ 所定の用紙により提出してください。 |
| ⑥ 住民票 | <u>日本在住の外国人</u> の入学志願者のみ 市区町村長が発行したもの(在留資格・在留期間が記載されたもの) |
| ⑦ 英語能力試験 の成績証明書 | 試験日の4年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験の成績証明書の原本を提出してください。 ・TOEICの500点以上の成績通知書 ・TOEIC-IPの500点以上の成績通知書 ・TOEICの500点と同等以上の英語の成績を証明するもの ※成績通知書は後日返却します。 |
| ⑧ 受験票等送付 用封筒 | この募集要項に添付されている封筒に、受験票の送付先(入学志願者本人の郵便番号、住所、氏名)を明記し、362円分の切手を貼ってください。 |
| ⑨ 連絡受信先 シール | 合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。 |

【 注意事項 】

志願票等の記入方法について

「V薬科学専攻(博士前期課程)案内」(P14～P15)により,講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに,志望教育研究分野の担当教員に教育研究内容等について,事前に面談の上ご記入ください。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は,入学者選抜に係る業務に使用します。ただし,入学者については志願票に記載された氏名,性別,生年月日,現住所,出身学校等の個人情報を,本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また,合格者の受験番号,氏名(漢字・カナ)の個人情報については,本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお,入学料免除の申請,入学料徴収猶予の申請,授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は,申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を,入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

5 受験票の交付

(1) 受験票は,平成28年1月8日(金)頃に本人あて発送します。

なお,1月15日(金)までに到着しない場合には,次の連絡先に連絡してください。

| |
|---|
| 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 【TEL(086)251-7923】 |
|---|

(2) 受験票は,試験当日及び入学手続きの際に必要なとなりますので,大切に保管しておいてください。

6 入学者選抜方法等

入学者の選抜は,筆記試験(薬学基礎科目),提出のあった TOEIC テスト又は TOEIC IP テストのスコア,口述試験(岡山大学薬学部出身者以外の受験者のみ),出願書類等を総合して行います。筆記試験及び口述試験は1日で終了します。

(1) 試験内容等及び配点

| 試験内容 | | 配点 | |
|------|--------------------------|-----|-----|
| 筆記試験 | 薬学基礎科目 ※ 1 | 50点 | 75点 |
| 書類審査 | TOEIC テスト又は TOEIC-IP テスト | 25点 | |
| 口述試験 | 口頭試問 | ※ 2 | |

※ 1 筆記試験は日本語又は英語の問題文から1つを選択してください。

※ 2 口述試験は,総合判定の資料とします。

(2) 試験日程

| 試験日 | 試験内容 | | 試験時間 |
|---------------|------|--|-------------|
| 平成28年1月21日(木) | 筆記試験 | 薬学基礎科目 ① 有機化学 有機化合物の構造化学, 立体化学, 合成法, 反応機構, 命名及び構造決定領域から出題します。 ② 物理化学・分析化学 原子・分子の構造, 化学熱力学, 溶液論, 電気化学, 反応速度, 輸送現象の物理化学領域, ならびに酸塩基, 酸化還元, キレート滴定などの定量分析及び機器分析の領域から出題します。 ③ 生命科学 生化学(タンパク質, 脂質, 核酸, 糖質, エネルギー代謝)及び分子・細胞生物学(細胞の構造, 遺伝子の複製・修復・組換え, 遺伝子発現の調節, シグナル伝達, 細胞周期と細胞死)から出題します。 | 9:30 ~11:00 |
| | 口述試験 | 口頭試問 | 11:30 ~ |

- ① 薬学基礎科目は計3題のうち2題を選び, 解答してください。
- ② 書類審査として, TOEIC テスト又は TOEIC-IP テストのスコアを用います。(英語筆記試験は実施しません。)

(3) 試験場

岡山大学薬学部1号館【岡山市北区津島中1-1-1】

- ① JR岡山駅西口から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅東口から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車, 徒歩約10分

7 合格者発表

| 日時 | 掲示場所 |
|----------------------|-------------|
| 平成28年2月5日(金) 10時(予定) | 薬学部1号館前 掲示板 |

- ① 合格者には, 医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当の窓口で, 合格通知書等を交付します。本学に在籍していない合格者には郵送します。
- ② 掲示による合格者発表後, ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

- (1) 入学手続方法
詳細は、「入学案内」により通知します。
- (2) 入学手続期間

| |
|---------------------------|
| 平成28年4月入学(第1回入試) |
| 平成28年3月14日(月)及び3月15日(火)まで |

9 その他

- (1) 学費
入学料 282,000円 [予定額]
授業料(前期分) 267,900円 (年額 535,800円)[予定額]
※ なお, 入学時及び在学中に改定が行われた場合には, 改定時から新たな金額が適用されます。
- (2) 修学援助
修学援助の一環として, 入学料免除・徴収猶予, 授業料免除及び奨学金等の制度があります。

V 薬科学専攻（博士前期課程）案内

| 講座 | 分野 | 研究室 | | 担当教員 | |
|-------|---------|-------------------|--|---|---------------------|
| | | 名称 | 内容 | | |
| 薬品合成学 | 薬品合成学 | 1-1 (有機医薬品開発学) | 有機合成化学・有機構造化学を手段に、目的とする生理活性物質構造(抗がん薬、抗菌薬、生活習慣病薬等の難治性疾患)を予測性ある構造概念を基に自ら創製し、難治性疾患の基礎創薬研究、また新薬開発を目指す基礎教育・研究を行う。更に、新薬創製の基礎となる有機化学に関し、特にフッ素原子の特性に着目した有機合成化学研究を行う。 | 宮地 弘幸 教授 | |
| | | 1-2 (合成医薬品開発学) | 創薬を指向した分子設計と医薬品合成のためのプロセス化学および精密合成化学反応の開発とその医薬分子創製への応用、および構造活性相関に関する教育・研究を行う。 | 竹内 靖雄 教授 | |
| | | 1-3 (天然医薬品開発学) | 医薬品開発の基礎となり、また漢方医学における生薬利用の有用性の基礎となる天然有機化合物について、その化学を中心とした教育・研究を行う。 | 波多野 力 教授 | |
| | | 1-4 (構造生物薬学) | 受容体・チャネル・情報伝達分子や医学・薬学・歯学標的タンパク質を初めとした種々の生体高分子について、立体構造解析および構造情報に基づいた機能解析を行う構造生物学研究を行い、生命機能の理解および創薬を目指す教育・研究を行う。 | 山下 敦子 教授 | |
| | | 1-5 (精密有機合成化学) | 汎用性のある多段階ワンポット反応の開発と、late stage functionalizationによる効率的合成法の確立、及びそれらを基軸とした生物活性物質の全合成に向けた教育、研究を行う。また、優れた発光性や色彩を持つ π 電子系分子を創出し、その物性解明研究を行う。 | 澤田 大介 教授 | |
| | 物質情報解析学 | 2-1 (生体物理化学) | 光や電気などの物理的刺激を利用し、分子から脳まで、高速反応から分子進化までの幅広い時空間軸での解析と解析法の開拓を行い、生命機能を物理化学の言葉で理解することで、創薬を支えるための教育・研究を行う。 | 須藤 雄気 教授 | |
| | | 2-2 (医薬品機能分析学) | 分子イメージング技術を用いた新規放射性医薬品の創薬研究や代謝生理学的研究、マイクロドーズ臨床試験などのトランスレーショナル研究を推進し、併せて新規分子イメージング計測技術の開発、生体内金属の生理機能解明や輸送機構解明などの教育・研究を行う。 | 榎本 秀一 教授 | |
| | 生命反応解析学 | 分子生命解析学 | 3-1 (生体膜生化学) | 生体膜の構造と機能、膜のダイナミクスと生命活動、膜ATPase・トランスポーター・チャネル・レセプターが関与する疾病などについての教育・研究を行う。 | 森山 芳則 教授 |
| | | | 3-2 (生体応答制御学) | マスト細胞および樹状細胞に焦点をおいた、骨髄系細胞による免疫機能の調節機構についての教育・研究を行う。 | 田中 智之 教授 |
| | | 病態代謝解析学 | 4-1 (臨床病態診断学) | 肥満症、脂肪肝、ウイルス性肝炎、生活習慣病などの疫学や病態を分析し、より有効な診断法・治療法について研究する。また、精神・神経疾患の病態を解析し、より効果的な診断法・薬物治療について教育・研究する。 | 小倉 俊郎 教授 大西 勝 教授 |

| 講座 | 分野 | 研究室 | | 担当教員 | | |
|---------|-----------|-------|------------------|---|---|--------------|
| | | 名称 | 内容 | | | |
| 薬効解析応用学 | 薬効評価解析学 | 5-1 | (医薬品臨床評価学系) | ナノテクノロジーで開発された薬剤(ナノ薬剤)による、がんや感染症など難治疾患の新たな治療法開拓を目指して、病巣の血管系の構築と機能及びナノ薬剤分布や効果の関連を各種手法で解析し、新しい観点による薬効評価を研究・教育する。 | 狩野 光伸 教授 | |
| | | 5-2 | (健康機能解析学) | 健康寿命延伸に向けた予防・治療(薬、素材、方法)の開発を目的とし、過(偏偏)栄養がメタボリック症候群やサルコペニア肥満に帰結するメカニズムを、栄養エネルギー代謝決壊、レドックスバランス不均衡-慢性炎症連関、組織リモデリングや遺伝子発現レベルの後生的修飾など病態進展機序の解明・解析に関する教育研究を行う。 | (高山 房子 准教授) | |
| | | 5-3 | (薬効解析学系) | 一酸化窒素などによる酸化ストレスの実体を分子レベルで解析し、パーキンソン病やアルツハイマー病をはじめとする神経変性疾患発症機構の解明を目指す。このような状態に連関したタンパク質品質機構の詳細なメカニズムについて解析する。発症機序を基にした新規早期診断法や治療薬(中枢神経系, 免疫アレルギー系, 循環器系)開発についての教育・研究を行う。 | 上原 孝 教授 | |
| | | 5-4 | (炎症薬物学) | 炎症反応およびアレルギー反応の病態を様々な手法で解析し、新規な作用機序を有する予防薬および治療薬の開発に貢献できる新しい疾患モデルの作製と薬物評価方法などについて研究・教育を行う。 | (杉本 幸雄 准教授) | |
| | | 5-5 | (腫瘍薬物療法学/臨床精神薬学) | 新規精神神経疾患治療薬開発のための病態解明および病態モデルの開発、または医薬品の適正使用法の確立のため、薬害・有害事象の発症要因の解明および回避方法に関する教育・研究を行う。 | (須野 学 准教授) (四宮 一昭 准教授) | |
| | | 5-6 | (臨床薬剤学) | 患者の安心・安全な薬物治療の実施を目的に、医療現場での様々な問題点について、基礎薬学および臨床薬学的アプローチによる解明について教育・研究を行う。特に、精神神経疾患の病態解明、がん耐性化機構、医療材料の適正化研究を推進している。 | (北村 佳久 准教授) | |
| | | 5-7 | (臨床薬物動態学) | 薬物療法の個別化最適化手法の構築を目的に、薬物の体内動態と薬効に影響を与える変動因子の同定と変動メカニズムの解明を目指した教育・研究を行う。また、臨床データの適及的並びにコホートの解析により、薬物療法の最適化を支援する科学的根拠の発見と蓄積を目的とする教育・研究を併せて実施する。 | (合葉 哲也 准教授) | |
| | | 5-8 | (救急薬学) | 急性期疾患における薬物療法への介入および災害時における保健医療体制の意義を理解することを目的としたシミュレーション教育を充実させ、実践と社会のニーズから薬学的問題点を解明する教育・研究を行う。 | 名倉 弘哲 教授 | |
| | 薬物療法応用学 | 6-1 | (製剤設計評価学) | 新しい製剤機能を付与した製剤の開発、局所薬物動態評価法の開発と局所薬物動態の製剤的制御、および薬物速度論に基づく薬物療法設計の個別化・最適化について教育・研究を行う。 | 黒崎 勇二 教授 | |
| | | 6-2 | (薬物動態制御学) | 薬物の体内動態を解析し、それらを医薬品として使用する際に、薬効を最大限に発揮させ、かつ毒性を最小限に抑える投与方法と投与形態について教育・研究を行う。 | 檜垣 和孝 教授 | |
| | 環境因子応用解析学 | 環境解析学 | 7-1 | (衛生微生物化学) | 環境汚染物質や環境病原微生物など健康に影響を及ぼすリスク要因の分析、生体への作用機構、環境中での動態などについて教育・研究を行う。 | 三好 伸一 教授 |
| | | | 8-1 | (国際感染症制御学) | 我が国を取り巻く諸国の感染症と熱帯病の制御と抗マラリア作用を有する天然資源の探索、並びにマラリア原虫の分子生物学の基盤構築に関する教育・研究を行う。 | (金 恵淑 准教授) |
| | | | 8-2 | (分子毒性薬科学) | 遺伝子傷害・突然変異誘発機構の解明を通して、発がん機構と発がん予防機構、発がん予防物質に関する教育・研究を行う。 | (有元 佐賀恵 准教授) |
| | | | 8-3 | (微生物医薬品学) | ゲノム情報を駆使して、難治性感染症を含めた種々の感染症の病原微生物の生命維持機構、特にイオン輸送を介した環境適応、抗菌薬耐性などについて教育・研究を行う。 | (黒田 照夫 准教授) |